

## 令和2年度第2回宗像市民図書館協議会録（要点筆記）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催を取りやめた。会議の代替策として、宗像市民図書館協議会委員（以下、委員）に下記①～④の資料を送付し、①～③について意見を求めた。

### 【送付資料】

- ①宗像市読書のまちづくり推進計画実施シート（後期）
- ②令和2年度宗像市民図書館来館者アンケート調査結果報告
- ③家読事業の実施について
- ④図書館を使った調べる学習コンクール「全国審査」結果報告

### 【スケジュール】

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 令和3年2月9日  | 委員へ資料送付     |
| 令和3年2月19日 | 委員からの意見提出締切 |

### 【図書館協議会委員】

河内会長、木庭副会長、川上委員、栗山委員、白木委員、白根委員、畠中委員、藤原委員

### 【事務局】

図書課（織戸課長、本田主幹兼係長、占部）

### 【宗像市読書のまちづくり推進計画実施シート（後期）に関する意見（抜粋）】

- ・図書館だよりやイベントの情報を学校・幼稚園・保育所・認定こども園へ発信していただければ、保護者へ周知できると思います。
- ・多様な情報媒体を活用して、その特徴を活かした情報を発信していただくのは、大変有効なことだと思います。特に、SNSは登録すれば通知が来るので、図書館からのお知らせを得やすい利点もあり、今後大いに活用していただきたいです。

【令和2年度宗像市民図書館来館者アンケート調査結果報告に関する意見（抜粋）】

- ・ボランティアとして図書館に関わりたいと思っいらっしゃる方々は、おそらく潜在的にもっといらっしゃると思います。負担の少ないボランティア等気軽に関わることのできる内容があるといいなと思いました。
- ・概ね満足度が高く、利用する方にとってはよい図書館と認知されています。せっかく良い運営ができていますので、もっと多くの人に足を運んでもらえたらいいですね。

【家読事業の実施についてに関する意見（抜粋）】

※家読の定義：読書運動の一つ。「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味する。

※家読の目的：家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める。

家読推進プロジェクト公式ホームページより

- ・家庭で読書するという本事業には大いに賛成です。ただし、目的が「家族のコミュニケーションを深める」こととなるのには違和感があります。あくまでも本に親しむ、読書を日常のものにすることではないかと思います。家族のコミュニケーションは副次的なもの、もしくは手段ではないかと思います。大きなところで「家読」が定義されていて、変更や修正は難しいのかもしれませんが、「読書のまちづくり」の視点に立つと、目的と手段が逆転しているように思います。
- ・家読事業は図書館がバックボーンとして土台を支えてこそ効果がでる事業です。現在の市民の利用率、乳幼児から中高生までの保護者の利用率から掛け声だけに終わるのではないかと危惧されます。半強制的な事業にならないように注意してください。